

会 議 録

会 議 名	第４５回野田市市民活動支援センター運営協議会
議 題	１ 議案 （１）市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について （２）令和４年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について ２ 報告事項 （１）令和４年度市民活動支援センターの登録状況について （２）令和３年度市民活動支援センターの利用状況について （３）令和３年度市民活動支援センターの事業実施報告について （４）令和４年度市民活動団体支援補助金について
日 時	令和４年４月２６日（火）午後２時００分から午後３時４０分まで
場 所	野田市役所低層棟４階 委員会室
出 席 委 員	会 長 竹澤 勇司 副会長 立山 喜弘 委 員 武智 多恵子、岩井 勝治、北倉 恵美子、加藤 眞智子 名代 ちよ子、芝田 栄太郎
欠 席 委 員	無し
事 務 局 等	副市長 今村 繁 市民生活部長 宮澤 一弥 市民生活課長 田中 洋介 市民生活課長補佐 大野木 亮二 市民生活課 コミュニティ係長 荒木 智子 市民活動支援センター長 関口 一男 主任コーディネーター 釜田 正雄 コーディネーター 荒井 ハツヨ、渡邊 勝男 支援補助員 向佐 美知子

傍 聴 者	無し
議 事	第４５回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
１ 開会 事務局から開会を宣言。 会議の成立について報告。 会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。 傍聴人の申出がなかったことを報告。 ２ 副市長挨拶 今村副市長挨拶 ３ 自己紹介 各委員及び事務局職員の自己紹介を行った。 ４ 議事 議案（１） 市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について （資料 議案（１）） 大野木市民生活課長補佐 委員改選後、初めての会議であり、会長・副会長が不在のため、会長が決定するまで副市長に仮議長をお願いしたいと思うが、良いか各委員に問うた。 《異議無し⇒了承》 仮議長（今村副市長） 仮議長席に移動し、議案（１）について説明を求めた。 田中市民生活課長 議案（１）「市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について」を説明した。 仮議長（今村副市長） 議案（１）について、まず会長を決定するため、選出方法について各委員に意見を求めた。 岩井委員	

指名推薦でお願いしたい。

仮議長(今村副市長)

他に意見はないかを問うた。

《異議無し》

仮議長(今村副市長)

どなたか推薦したい委員はいるかを問うた。

岩井委員

会長に竹澤委員を推薦したい。

仮議長(今村副市長)

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

《異議無し》

仮議長(今村副市長)

竹澤委員を会長に決定することについて問うた。

《異議無し⇒竹澤委員を会長に決定する。》

仮議長(今村副市長)

会長が決定したので仮議長を降りること、竹澤委員は会長席に移動して挨拶をすることをお願いした。

竹澤会長挨拶

ただ今、会長に御推挙を賜り大変責任を感じております。本日、委員の皆様には御多忙のところ御出席いただきまして、心より御礼申し上げます。新しい委員の方もいらっしゃるということで、これまでのセンターの経緯を簡単に振り返りますと、機能強化検討委員会の会議が平成22年1月から平成24年6月までに5回ほど開催されて、同年10月に第1回NPOボランティアサポートセンター運営協議会として、手探り状態でスタートいたしました。平成27年度から市民活動支援センターと改め、現在まで、市民活動団体のための支援環境が、補助金、元気アップふえすた、学習会等の多様な企画の実施で整備され、これまで手探り状態だったものが、センターとして、非常に大きく飛躍していろいろな面で整備されました。

ここ2年間、コロナ禍で、市民活動団体にとっては、厳しい状況となりましたが、事業の実施が全て計画通り開催されるよう、今年度は市内における各活動団体に再び活気が戻り、団体が目標とする活動のあるべき姿が、各団体が体現できることを願うところでございます。運営協議会の本質は、会議が開催され、委員の御意見が反映され、市民の方々に良好な活動への道しるべとなることが、最も重要なことと感じま

す。委員の皆様にはこれまで以上の力強い御意見をお願いいたします。結びに副市長、市民生活課職員、センター長、コーディネーターの皆様には、今年度も温かい御指導を賜りますようお願いいたします。

大野木市民生活課長補佐

設置要領第7条第1項の規定により、「会長が議長になる」と定められているため、以降の議事進行を会長にお願いした。

議長（竹澤会長）

次に、副会長の選任を議題とし、委員の互選により選出するとあるが、いかがするかを各委員に問うた。

岩井委員

指名推薦でお願いしたい。

議長（竹澤会長）

どなたか推薦したい委員はいるかを問うた。

岩井委員

立山委員を推薦したい。

議長（竹澤会長）

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

《異議無し》

議長（竹澤会長）

立山委員を副会長に決定することについて問うた。

《異議無し⇒立山委員を副会長に決定する。》

議長（竹澤会長）

立山委員を副会長に決定したので、副会長席に移動し挨拶することをお願いした。

立山副会長挨拶

引き続き、副会長の大役を仰せつかりました立山です。よろしく御指導お願いしたいと思います。

議長（竹澤会長）

議案（2）の審議の前に、関連する報告事項（1）から（4）についての報告を受けてから議案（2）を審議することにしたいが、良いか各委員に問うた。

《異議無し⇒了承》

報告事項（１）令和４年度市民活動支援センターの登録状況について

（資料 報告（１）－１、（１）－２）

議長（竹澤会長）

報告事項（１）について、説明を求めた。

向佐支援補助員

報告事項（１）「令和４年度市民活動支援センターの登録状況について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（１）について、委員に意見を求めた。

各委員

特に無し

議長（竹澤会長）

意見がないようなので、報告事項（１）については以上を報告事項とする。

報告事項（２）令和３年度市民活動支援センターの利用状況について

（資料 報告（２）－１～８）

議長（竹澤会長）

報告事項（２）について説明を求めた。

荒井コーディネーター

報告事項（２）「令和３年度市民活動支援センターの利用状況」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（２）について、委員に意見を求めた。

議長（竹澤会長）

相談業務の中で、コロナ禍ならではの相談や意見はどのようなものがあったか教えていただきたい。

荒井コーディネーター

よさこいグループから、今までのような活動ができず、どこかで踊る機会がないか、早く活動を再開したいとの意見があった。また、補助金関係では、NPO法人も対象となる千葉県中小企業等事業継続支援金についての情報発信に努め、多くのNPO法人が支援金を受け、活動存続の助けとなっているとの意見があった。

北倉委員

会議室について、コロナ禍で利用を規制されたため、また市民活動は交流を伴うも

のが多いので活動は難しかったと思う。徐々に規制が解除され利用できるようになりよかったと思う。イオンノア店内会議室1は、引き続き貸出し中止とあるが、復活するめどはあるのか。あそこはとても広くて、ダンス系の団体が利用するには大変利用しがいのある新しい会場なので、是非この会議室が市民活動の皆さんに利用できるようになったらいいと思っている。また、8階旧レストラン会議室の掃除は、どのような形で行っているのか。利用者が終了後に掃除をするものなのかうかがいたい。

関口センター長

イオンノア店内会議室1については、空調等の関係で、今は貸出ししていないが、コロナが落ち着いてきたら、イオンの管理の方と調整させていただき、時期がくればまたお貸しできると考えている。次に、8階旧レストラン会議室については、副市長からも話があった通り、22日から本来の定員で貸出しできるようになり、机の配置も換えた。掃除はセンター職員が、時々掃除機をかけている状況である。

北倉委員

利用者が使用後に掃除をするということにはならないのか。

釜田主任コーディネーター

センターの方で、節目節目に掃除をしている。例えば1例でいうと運営協議会やフェスタ等の開催時期は必ず行っている。22日に掃除に来たときに、思っていたよりほこりがたまっていたので、もう少しまめに掃除をして、気持ちよく使ってもらえればと思う。基本的には、他の施設も同じであるが、終わったときには、元の状態に戻し、掃除をしてもらうことでお願いしている。イオンノア店内会議室1について、先ほどセンター長から説明があったとおり、空調の関係等々があり貸出しができていなかったが、そのあと、空調関係について、二酸化炭素濃度の測定とか、いろいろ試みた。ただ、空調だと音が大きいという課題があり、団体からも苦情があったので、今のところは、コロナワクチンの接種会場として利用させていただいている。コロナが落ち着けば、できるだけ活動団体の皆さんに使っていただければと思っている。早くコロナが収束することを願っている。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項（2）については以上を報告事項とする。

報告事項（3）令和3年度市民活動支援センターの事業実施報告について

（資料 報告（3）－1～8）

議長（竹澤会長）

報告事項（３）について、説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

報告事項（３）「令和３年度市民活動支援センターの事業実施報告について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（３）について、委員に意見を求めた。

北倉委員

17 ページの真ん中から下ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少している中小企業等（NPO法人を含む。）に対して事業継続支援金を申請すれば、支援金を頂けるということで、私どもの野田子ども劇場も、申請させていただき、無事に支援金を頂くことができた。こういう支援金があると情報を頂けたというのが大変有り難かったと思っている。18 ページのパソコン学習会と 19 ページのNPO法人会計学習会について、すごくよく取り組まれたと思っている。コロナ禍でも、こういう団体が存続するのに必要なスキルを学べたというのは、とてもよかったと思う。参加団体から何か感想等がフィードバックがあれば教えてほしい。

関口センター長

パソコン学習会については、去年は２回行い、コロナの関係で、個別に１日２人までということで実施した。１日２人なので、その人のレベルで講習ができたのでよかったと思う。10 人一遍にやったりすれば内容が分からなくても質問できず通過してしまうところを、その場その場で、分からないところを確認できるということが、受講された方からは好評だった。今年はコロナの関係もあるが、また元に戻して、５、６人集めさせていただいてやらせてもらおうと思っている。次に法人会計学習会については、私も参加したが、貸借対照表とかは参加された方からも少し難しいという意見があったので、継続的に学習会等を行う必要があると思っている。

岩井委員

これだけいろいろな補助金があっても、今までは皆さん分からなくて活用できなかったところが、たくさん活用できるようになって本当によかったと思っている。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項（３）については以上を報告事項とする。

報告事項（４）令和４年度市民活動団体支援補助金について

（資料 報告（４））

議長（竹澤会長）

報告事項（４）について、説明を求めた。

田中市民生活課長

報告事項（４）「令和４年度市民活動団体支援補助金について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（４）について、委員に意見を求めた。

北倉委員

補助金のこの取組が継続して実施されていることにまず、大変いいと思っている。この補助金が始まって、３年以上、もっと経過しているので、中身の見直し時期にきているのではないかと感じている。果たして３年継続して支援する必要があったかどうかのその考察とか、交付決定する団体数はこれで適正かとか。コロナ禍になり活動したくてもできない団体がほとんどの中、ここはよくくらいついて継続支援をしてくれていると思う。この補助金の制度の中身をもう一度見直す必要があるのではないか。

関口センター長

補助金については、過去に一度、内容の見直しを行っている。例えば５年未満の組織基盤強化も、１回だけ交付ということもあったが、それを現在は、１０万円を３年継続ということでやっている。

名代委員

補助金を出すときには、その活動報告が見えるような形で、決定の理由もつけていただけたら、すごく分かりやすいと思う。

関口センター長

組織基盤強化支援は上限１０万円で３年間継続が可能、事業発展支援は上限２０万円で単年度という取決めでやっている。取組事例集を発行しているので、事例集を見ていただければ、各団体が補助金を使ってどういう活動をしたかが分かると思う。現在、昨年度の報告書を提出していただいている状況なので、８月頃には、事例集ができて上がる予定である。

副市長

内容についての検証とか見直しは絶えず行っていかなければならないと思っている。最初作ったときに、組織基盤強化支援、最初は運営が大事だと。人を増やすのが大変だということで、設立５年未満ということで始めた。一方で設立５年以上の団体についても、それを更に発展させる、維持するための事業費というような形でやっている。見直しを絶えず行い、範囲を広げるのか、広げないのか、検証はやっていこう

と思っているので、そういうご意見をどんどん頂ければと思う。

名代委員

必要なところに必要な額を、必要でないところにも一律 10 万円というのはおかしいと思う。この年数をたったからもらえるという形は、何か違うと思うので、是非その検証をしていただきたい。

関口センター長

まず、一律 10 万円ではなく最高 10 万円である。活動の内容はそれぞれ団体によって皆バラバラだと思うので、3 年間継続されている、あるいは活動されているということで、そこは検証させていただいた。交付決定額は 10 万円だが、もし活動していなければ、活動の範囲内での交付額になるので、10 万円を決定したから必ず 10 万円を支払うということではない。今年の場合も、10 万円のうち、半分はコロナでできなかったという団体については、当然、交付額も半分ぐらいの金額になっている。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項（４）については以上を報告事項とする。

議案（２） 令和４年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について

（資料 議案（２）－１、（２）－２）

議長（竹澤会長）

議案（２）について説明を求めた。

関口センター長

議案（２）「令和４年度市民活動支援センターの事業実施計画（案）について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議案（２）について、委員に意見を求めた。

武智委員

この計画案、本当にこれが実現していけばいいと思う。どこかでもう少し、団体同士のコミュニケーションが取れるような、そういうことを考えているのか、そんなチャンスももう少しあるといいと思う。

北倉委員

第５回市民活動元気アップふえすたの件で、12 月 11 日に開催予定日が設定されている。合同説明会は 6 月という計画だが、第 1 回代表者連絡会議は今月もう開催されたのか。

関口センター長

開催した。

北倉委員

対象団体が 40 団体程度で、子育て層の参加を主な目標としているということになると、この三つのお祭りが、それぞれもっと、団体数としては参加されていたと思うが、何か基準を設けてエントリーを考えているのか。みんな、コロナがだんだん収束気味なので、何かもう活動したいと考えていると思うので、これはもしかしたら参加する格好のアイテムになると思う。参加したい団体が多数出たら、どうやって選別するのか。あと、⑨番の野田夏まつり躍り七夕は、開催の予定か。

関口センター長

元気アップふえすたについては、参加団体の受入れの制限を設けるという考えは、今のところない。元気アップふえすと市民ふれあいハートまつりは、重なっている団体も結構あることから、今まで別々にやっていたものを 1 日でやるということなので、多ければ多いほど有り難い。代表者連絡会議の中で一つ出た案は、文化会館をせっかく借りるので、ステージを使って舞台発表をやったらどうかという意見があった。個人の団体でなかなか文化会館を借りられないから、この期に参加したいという団体は多いかもしれない。その場合は、当然絞らなくてはいけないので、次回は外れた人たちを優先にとかそういうことも考えながら、いろいろやればというふうな形の話合いはしている。躍り七夕については、準備期間が足りないということで中止という方向にきまった。

北倉委員

ステージ発表ということだが、野田市の文化祭の開催は、まだ一般市民は分かっているが、それとはブッキングしないということによろしいか。

関口センター長

文化祭は、例年 11 月開催予定であるが、開催するかどうかはまだ実行委員会を開かないと分からないので、お答えできないということを聞いている。元気アップふえすたの方は、ぎりぎりまでやるということで進めたいとしているので、準備してもらって、コロナの関係でもうみんなが駄目だよということになれば仕方がないが、できればやりたい。しかし、その文化会館が、第 4 回目、5 回目のワクチンの集団接種会場になった場合は、やらないのではなくて、例えば、青少年センターの体育館とかも活用しながら、少しコンパクトにはなるかもしれないが、やる方向で、進めたいと考えている。

岩井委員

経理の勉強会の予定は、今年はないのか。去年の講座は非常に難しかったとの話があったそうだが、私もNPO法人で経理をやっていたときに、結構苦勞した。1回で分からなかったら、何回か続けて講座を開催することはいかがか。

関口センター長

⑤はNPO法人学習会であり、こちらは、法人運営会計基礎講座ということで、まだ中身は決めていないが実施する予定である。

釜田主任コーディネーター

表の作り方を説明させていただく。⑤のNPO法人学習会は、センターの主催事業であり、千葉県市民活動団体マネジメント事業は、県主催である。法人へ講座案内、受講後個別支援と記入してあるのは、県のマネジメント事業ということで、野田市の事例で見ると、確か令和2年度に実施した県の講座に、市内の登録の法人が何団体か、そのうち、北川理事長のところか、中心にやっていただいた。その後この県の講座を受講すると、実際にその団体の活動をしている場所に来て、帳簿を見て、説明をしてくれるという特典がついてくる。県のマネジメント事業については、そういうふうな事業である。先ほどセンター長が説明した法人運営会計基礎講座は、センターの主催事業である。前回は税理士の方に、直接野田市に来て講座を開いていただいたという内容になっている。

立山副会長

協働のまちづくり推進について、これは大きなテーマで、難しいところがあると思うが、ざっくりどの程度今進んでいるのか。それから、今年は実態把握調査とあるが、活動に結び付くようなことになるのか。

関口センター長

協働のまちづくりについて、昨年もアンケート等、団体の方をお願いして取らせていただいた。今年もまた団体等で行っている事業を調べさせていただいている。実際にまた具体的に何か調べられればと思っている。なかなか協働に対する認識が市の方が少ないぐらいかもしれない。協働とは何かという講座、また、今後市と協働で取り組んでいきたいことという状況が、昨年までの調査の中で、把握できたので、それに関係する講座を開きたいと考えている。協働には共催や後援があったり、実行委員会や補助金とかという形でとらえている市もあれば、協働とはということで、三つぐらいの分野に分けてしまっているところもあり、各市、とらえ方もまちまちで、そういう中で、当然、我々担当もどういうとらえ方をしていくかというところから、やって

いるところである。

立山副会長

およそ了解した。もう少し我々に何か情報を提供していただかないと、我々協働のまちづくりというテーマだけを言って中身がないという感じで、大変申し訳ないが何か少し情報をおろしていただければと思うので、よろしく願いしたい。

議長（竹澤会長）

この協働のまちづくり推進ということを、事業実施計画に取り入れるようになったときに、まだまだ野田市の職員はこの協働のまちづくりに対して意識が薄いのではないかと話が出たことあったが、この実施計画はここだけでやっているわけではないので、必ず職員の方も目を通して、こういうことを今進めていくのだなということが分かっているわけである。それに対して、結果というのはおのずと、少し時間がかかっても出てくるのではないかと。我々としては職員の努力をやはり期待して、いい結果が出るように、これもそんなにすぐ1年、2年で出ることではないので、是非力添えの方、必ずお願いできればと思う。

議長（竹澤会長）

他に意見がなければ議案（2）については了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

大野木市民生活課長補佐

次回の運営協議会の日程について、8月2日（火）か4日（木）のいずれかで開催したいと考えている。時間は今日と同じ午後2時から、場所は旧レストラン会議室で開催したいが、都合はどうか。

議長（竹澤会長）

次回の運営協議会の日程について、委員に問うた。

《各委員に確認》

委員に問うた結果、8月4日（木）に決定する。

大野木市民生活課長補佐

議題については、支援センターの登録状況や利用状況などを予定している。

議長（竹澤会長）

会議の閉会を宣言した。